自ら学び、人との関わりを大切にして、未来を切り拓く子



学校経営目標

笑顔と信頼と誇りのある学校

何ができるようになるか・どのようになるか(身に付けたい資質・能力) 思考力・判断力・表現力等 知識及び技能

学びに向かう力・人間性等

自立

自ら学ぶ力

自分の力で 課題を解決する子 自ら関わる力

他者と協働して 課題を解決する子 自ら高める力 よりよい未来を

創造

創り出す子

FOR 2030

2pm

責任ある行動をとる力

対立やジレンマを克服する力 革を 起こ व 孪 カ 新たな価値を創造する力

どのように学ぶか・何を学ぶか

で 深 学 \pm 体 的、 対 話 的 い

デジタルとリアルの組み合わせによる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実

- 〇「読解力・語彙力」の育成
- ・音読上手を育てる
- ・俳句を詠むことで語感を育てる
- 読書の質を向上させる
- ○「問いを持ち追究する力」の育成
- きたやま学習を充実させる
- ・「なぜ」「どうしたら」を考える学 習課題を設定する
- ・多様な追究方法を身に付ける
- 〇「一人学びできる力」の育成
- ・誰一人取り残さない特別支援を 充実させる
- ・家庭学習の習慣を定着させる
- 〇「ICT 活用力」の育成
- 低…操作できる
- ・中…考えを入力できる
- ・高…工夫できる を目指す

- 〇「多様性を認める心」の育成
- 1組と3・4・5組の交流を活発 にする
- ・縦割り班活動で異学年交流する
- ・道徳で多面的・多角的に考える
- 〇「協働性」の育成
- ・協働的な学びを実現する授業と 活動を設定する
- ・話合い活動で折り合いの付け方 を学ぶ
- ○「コミュニケーション力」の育成
- ・授業の中で活発に対話をする
- ・山宮小とオンライン交流する
- ○「グローバルな視野」の育成
- ・SDGs に取り組む必要性を学ぶ ・エコ活動・支援活動に取り組む

- 〇「主体性」の育成
- ・子供がイベントを企画・運営する

てゞ

- 好きなことにとことん取り組み 「博士」「名人」をめざす
- ・ボランティア活動や朝運動を奨励する
- 〇「創造性」の育成
- ・当番活動ではない工夫した係活 動・委員会活動にする
- ・創作活動に力を入れる
- 〇「粘り強さ」の育成
- めあて・目標を設定し、達成度を 自己評価する
- ・新体力テスト表彰を目指す
- 〇 「自己調整力」の育成
- ・身に付いた力を振り返り学習を 調整する
- ・生活時間を自己管理する

北山中学校区 保・小・中 連携

何が身に付いたか・できるようになったか 数字は ABCD 評価の A+B の%

自ら学ぶ力は身に付いたか	90	自ら関わる:	カは身に	付いたか	90	自ら高める力は身に付いたか	90
自分の力で課題を解決できたか	他者と協働し	て課題を	解決できたか	90	よりよい未来に踏み出せたか	90	
教育目標は達成でき	票は達成できたか 90 学校経営目標は達成できたか 9						

〇行事ごとの目標の設定と振り返り 〇年2回の学校評価の分析と価値付け ○月ごとの生活目標の設定と振り返り

学校だより・学年だより・HP・連絡メール

LEBER、授業参観、教育相談など

学校だより回覧・HP・教育の日(学校公開) 卒業生一日先生の日、ゲストティーチャーなど 相互に情報提供・保護者と関係機関をつなぐ・ 相談日等の設定

PTA

- ◇望ましい生活習慣の確立を!
- ・早寝・早起き・朝ごはんの支援
- ・3 色そろった食事の提供
- ・家庭学習の見届け
- ・メディアコントロールディやエコ活動等への協力

地 域

- ○学校行事に地域の方を招待
- 〇子供の地域防災訓練への参加
- 〇きたやまサポートクラブの協力 (地域学校協働本部事業)
- 〇青少年育成連絡会・学校評議員会開催

関係機関

- ○心の相談…スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー 〇不登校対応…スクールカウンセラー・不登校対策
- 支援員 · 適応教室
- 〇非行・虐待行為対応…子ども未来課・

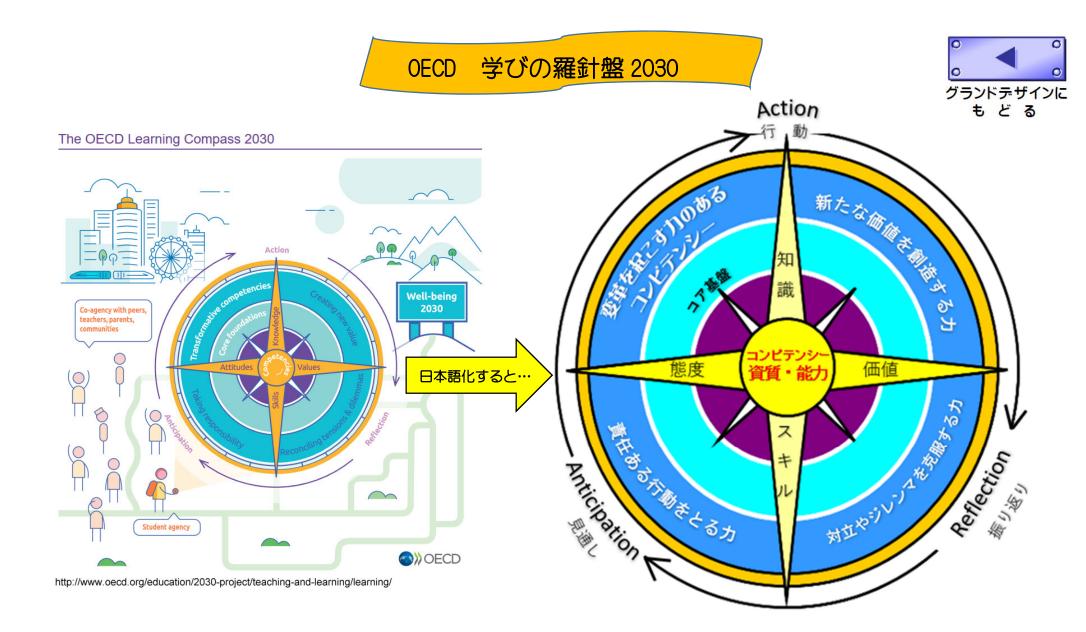
児童相談所・富士宮警察署

A

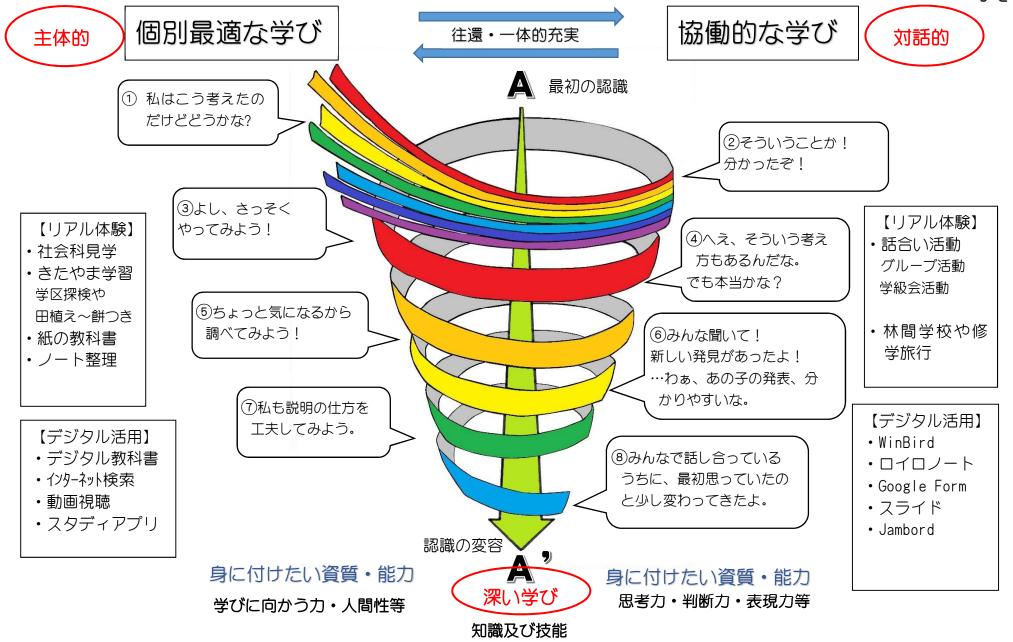
<u>改善</u> Jhm

の ように

価し ر • どう 善する









C いつ、どのように評価し、 A どう改善するか

職員会議全体研修		学年団研修		特支委員会		就支委員会		学校評議員会		教育課程編成		学校評価実施		学校評価反省				
レ	4/3	レ	4/6	レ	5/12	レ	4/4	レ	4/4	レ	6/15		1/17	レ	6/28~		8/28	
レ	4/4	レ	4/12	レ	5/19	レ	5/24	レ	5/22		2/9		2/5		12/1~		1/10	
レ	4/26	レ	4/17	レ	6/2		9/25		10/4				2/19	4	<u> </u>	1	7	
レ	5/17	レ	5/24	レ	6/9		11/29		12/4				2/26	. 但	呆護者・児童	 直・ 職員の		
レ	6/14	レ	6/5	レ	6/16		2/7		1/31				3/21		見を分析しこ			
レ	7/5	レ	市教委訪問	レ	6/23													
	8/1	レ	6/21	レ	6/30		 ・誰一人取り残さない「個別 最適な学び」になっているか。 ・個の自立に向かっているか ・インクルーシブか ・校長の学校経営は成果をあげているか。 											
	9/20	レ	7/3		9/1	ŀ												
	10/18		8/1		9/8													
	11/15		8/28		9/15													
	12/6		9/6		10/2													
	1/24		9/27		10/13	・富士山学習は、「個別最適な学び」と「協働的												
	2/14		人事管理訪問		10/20		な学び」で構想されているか。											
	2/28		10/25		10/27	7	・富士山学習は、リアルとデジタルが組合せで深まっていく単元構想になっているか											
			11/13		11/10	(
			11/24		11/17													
			1/10		12/1	研究成果の検証から改善へ												
行事	行事計画 2/21 1/12				1/12	・デジタルとリアルの分析												
生徒指導					1/19 🗸	・「個別最適な学び」になっているか												
保健指導		2/2			2/2	・「協働的な学び」になっているか												
など	効果的か	2/22				・それが単元を通して一体的に充実しているか												
時期	は適切か) 3/8 ・学力向上につながっているか																